

人と地球に優しい技術、 感性豊かな色彩を提供します。

私たち大日本塗料グループは、これまで環境や資源を護り、社会の発展と暮らしの向上に貢献することを願って、さまざまな製品とサービスをお届けしてきました。

人類がより良い生活を求めた代償として、地球温暖化、大気汚染など環境変化が顕著となった今、私たちはすべてのステークホルダーと協調し、環境保護への取り組みを一層強化しなければなりません。

これからも私たち大日本塗料グループは法令の遵守にとどまらず、環境や安全、健康に配慮した企業活動を推進してまいります。



塗料業界で初めて環境格付を取得

2012年2月、当社は株式会社日本政策投資銀行(以下DBJ)より「DBJ環境格付」に基づく融資*を受けました。

当社は、「環境負荷が小さく持続可能な社会を築いていくことが重要である」という認識のもと、業界ではいち早く環境への対応に取り組み、塗料のもつ多様な機能を活かした製品開発を推進してきました。

今回の格付取得は、

- (1) 環境配慮製品の売上高を拡大させている点
- (2) 独自の「環境セミナー」を継続的に開催する等、幅広いステークホルダーに対して製品の環境情報を開示することにより、環境に配慮した塗料の

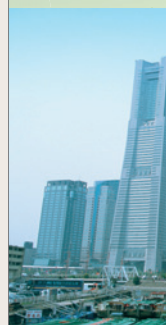
普及に努めている点

- (3) 国内外の生産子会社において環境マネジメントシステムの構築を推進し、グループ全体で環境配慮製品の開発・製造に取り組んでいる点
- など、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」であることが高く評価されたものです。

* 「DBJ環境格付」融資：DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するもので、得点に応じて3段階の適用金利を設定するという「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー



当社は、2012年2月日本政策投資銀行(DBJ)より「環境への配慮に対する取り組みが先進的」と評価され環境格付融資を受けました。



目次

| | |
|----------------|---|
| トップメッセージ | 2 |
|----------------|---|

特集

| | |
|--|---|
| 高機能塗料で鋼構造物を しっかりと護り、長く活かす | 4 |
| 環境への配慮、安心と安全を見つめた製品づくり | 6 |
| DNTの環境対応への歩み | 8 |

環境報告

| | |
|------------------------|----|
| 環境経営の基本方針 | 10 |
| 環境マネジメント | 11 |
| 事業活動と環境保全活動 | 13 |
| 環境安全行動計画と実績 | 14 |
| 地球温暖化防止への取り組み | 16 |
| 大気汚染防止/水質汚濁防止 | 17 |
| 廃棄物の削減/グリーン調達 購入 | 18 |
| 化学物質の管理 | 19 |
| 環境コミュニケーション | 21 |

社会性報告

| | |
|----------------|----|
| お客様との関わり | 22 |
| 従業員との関わり | 24 |
| 社会との関わり | 27 |

マネジメント

| | |
|----------------------------|----|
| コーポレートガバナンス/コンプライアンス | 28 |
| 海外グループ会社の取り組み | 30 |
| 会社概要 | 32 |

編集方針

当社は、2004年から毎年「環境報告書」を発行しています。2007年度からは環境報告に加え、社会性報告の充実を図り、大日本塗料のステークホルダーや本書の読者の方々の関心にお応えすべく情報公開に努めています。また編集に際しては、環境省「環境報告ガイドライン2007」を参考にしています。

報告対象範囲

大日本塗料グループ
(ただしデータ集計の範囲は大日本塗料(株)の事業所)

報告対象期間

2011年4月～2012年3月
(一部、2012年4月以降の活動を含む)

お問い合わせ先

大日本塗料株式会社 管理本部 環境品質保証部
TEL : 06-6466-6662 FAX : 06-6463-1394

大日本塗料ホームページ

URL : <http://www.dnt.co.jp/>